新産業創出機能の実現に向けて – 推進協議会の取り組み

うめきた2期みどりとイノベーションの融合拠点形成推進協議会 - 平成29年6月20日設立 -

まちびらきに先駆けて、地域(※)が主体となった協議会を立ち上げ、平成29年度より、先行的・具体的なイノベーション創出活動を推進(※関経連・大商・府・市・UR都市機構・大阪科学技術センター)

活動目的

国際社会における<mark>関西経済の競争力強化を図るため、広く関西一円の研究開発拠点等における</mark>卓越した技術と人を繋ぎ、新産業創出を加速するしくみを構築するなど、うめきた2期における「みどりとイノベーションの融合拠点」形成を推進する。

活動内容

うめきた2期におけるイノベーション創出のしくみ作りのため、主に下記の活動を実施

- ○新産業創出機能を形成する「パートナー」との連携関係構築 海外のイノベーション拠点や関西の研究開発拠点・大学、企業等とのネットワーク構築
- **○多くの人の関心を高めるための情報発信・プロモーション** うめきた2期(中核機能)のプロモーション活動、協議会活動成果の発信
- 〇プレプロジェクトの新規企画、国費(研究開発助成等)の獲得支援等

新産業創出機能の実現に向けて - 推進協議会の取り組み -

うめきた2期みどりとイノベーションの融合拠点形成推進協議会 今年度の具体的活動

設立記念シンポジウム - 8月2日開催 -



グランフロント大阪カンファレンスルーム にて開催。

文部科学省や経済産業省の審議官等をパネルに招き、都心でのビッグデータの収集や利活用の可能性などについて討論。

2期区域のまちづくりへの期待から、250 人を超える聴衆が来場 海外とのネットワーク構築事業 ~ うめきた2期未来シンポジウム ~ - 12月4日開催 ー



メイヨースポーツセンター(ミネアポリス)、 メルボルンヘルスアクセラレーター、 teckUK(ロンドン)から、特徴的なイノベー ション拠点の運営に携わるキーマンを招聘。

関西のポテンシャルと海外事例から、うめきた2期のイノベーション拠点機能に必要なしくみなどについて討論。280人が参加

新産業創出機能の実現に向けて - 推進協議会の取り組み -

イノベーションストリームKANSAI 2018 ~うめきた2期から未来へ~

■テーマ

関西の叡智をつなぐライフデザイン・イノベーション拠点、うめきた2期始動!

イノベーションストリームKANSAI 2018は、うめきた2期のテーマである、『ライフデザイン・イノベーション』に沿って、「関西の拠点の技術に繋がる・人に繋がる」や「最先端技術に触れ、体験することで、来街者と企業等が協業する」といううめきた2期のまちのコンセプトを先行的に体験できる、関西の新技術の展示・体験会。

新産業創出のための国際イノベーション会議『Hack Osaka』などと共同開催することで、多様な分野にまたがる出展者や来場者間の交流や連携を促進する。

■開催概要

開催日 平成30年2月26日(月)、27日(火)

開催場所 グランフロント大阪 コングレコベンションセンター ホールB・C、ルーム7・8・9

同時開催 JSTシンポジウムin大阪、国際イノベーション会議Hack Osaka 2018

出展内容 【大規模出展ブース】

JST支援プログラム(センターオブイノベーション(COI)、リサーチコンプレックス)採択拠点京都大学COI、大阪大学COI、立命館大学COI

けいはんなリサーチコンプレックス、神戸リサーチコンプレックス

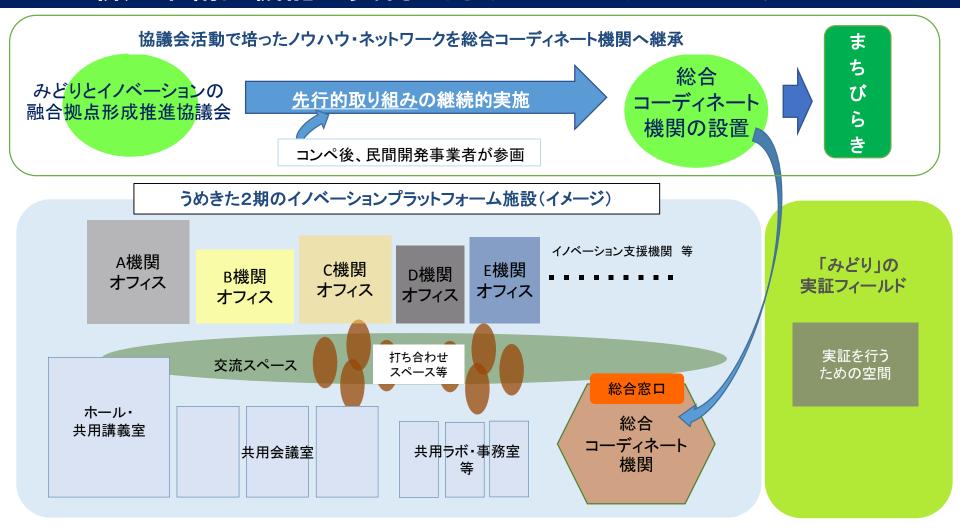
【一般出展ブース】

大阪府立大学、大阪市立大学、関西大学、大阪工業大学、関西学院大学、NEDO

【セミナー会場】

関西の最先端研究や産学官連携、イノベーション創出に関するセミナーを多数開催

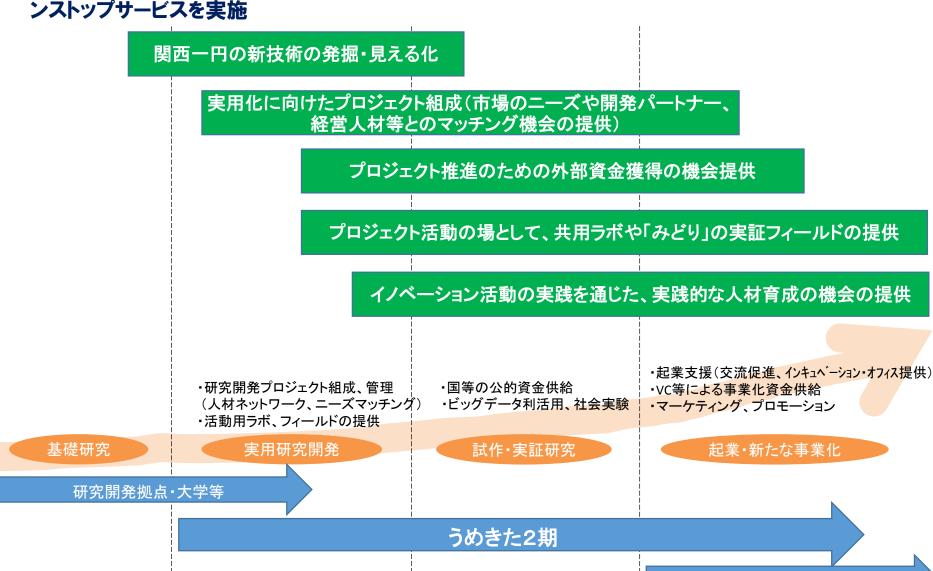
新産業創出機能の実現に向けて – 2期イノベーションプラットフォーム –



- ・うめきた2期では、ファンディングエージェンシーなど国の機関等の入居によるイノベーション創出支援事業や、複数の大学が連携した最先端の人材育成プログラムによる学びの場を提供
- ・イノベーション創出のための魅力的な支援メニューやファシリティーを備え、関西の各拠点をはじめ世界から若者・研究者・起業家・投資家などの人材が集まり・交流し、ここに来なければ会えない「違う世界の人と人」を結び付ける機会を提供

総合コーディネート機関が果たす役割

■ 総合コーディネート機関とは、プラットフォーム施設の中心的役割を担う「世話役」組織であり、新技術を持つ研究者や事業家など多様な人材を繋げ、研究開発等のプロジェクト創出をコーディネートするワンストップサービスを実施



うめきた1期

関西の「ハブ」となり、技術の橋渡し役となるうめきた

■ 関西の優れた研究開発拠点をつなぐハブとして、生み出された技術シーズと幅広い産業・ ユーザーをつなぎ、関西全体の活性化に貢献

うめきた イノベーションプラットフォーム

- <u>・関西のハブ</u>
 - ・知と人材の交流 (人材ネットワーク・ニーズマッチング)
 - ・研究開発プロジェクトの組成
 - ・ビッグデータ収集・利活用、社会実験
 - ・ファンディングエージェンシー等による資金等の供給
 - ・事業化等に関する情報発信 など



神戸医療産業都市理研など

関空

中之島

- ・臨床研究
- ・人材育成・教育 など